

ひとまちキラリ イキイキ活動賞 ご寄付のお願い



寄付という選択

貴社の“想い”、まちに活かす。

「市内で商売をしている会社として、私たちの会社も何かまちに貢献したい。でも何ができるだろう」

近ごろ市内の企業や事業所の皆さまから、そのようなお声をいただくようになりました。ありがたい話です。

“まち”はそこで暮らす住民の皆さまだけでつくるものではありません。そう、市民も行政も、そして企業の皆さまも、この“まち”で活動する仲間。それぞれができることや得意なことを持ち寄れば、きっと今より良いまちになっていきます。

「みんなで作るまち」を応援する草津市コミュニティ事業団では、このまちで行われている身近な“まちづくり活動”と企業や事業所の皆さまの“まちへの想い”をつなぐための制度を設けています。名づけて「ひとまちキラリ イキイキ活動賞」

「社会貢献・地域貢献の活動をしたければ、何ができるのかわからない」「仕事や業務に支障のない範囲で貢献したい」。そんな企業・事業所の皆さまからの温かいご寄付で、地道にコツコツと頑張っておられた様々なまちづくり活動を応援していただければ幸いです。貴社の“想い”をまちに活かすため、ぜひともご寄付をお願いします。



公益財団法人
草津市コミュニティ事業団

まちづくり振興グループ（ひとまちキラリ担当）
〒525-0032

滋賀県草津市大路二丁目1番35号

市民総合交流センター(キラリ工草津)5F
Tel 565-0477 Fax 565-0411

メール com-com@mx.biwa.ne.jp
URL <http://www.kusatsu.or.jp>



まちサポ <https://www.kusatsu-spp.net>



社会貢献活動

地域貢献活動

目的

「ひとまちキラリ イキイキ活動賞」は、草津市内の地元ボランティアグループや市民活動団体が、そのまちの“困りごと”の解消や、新しい魅力を創りだすために地道にコツコツとされてきた活動の功績を称える事業です。その活動に光をあてることで、これからも継続発展させていくモチベーションとなり、「自分たちのできることで、このまちを良くしていこう」という善意の連鎖につながることを期待しています。

そしてもう一つのポイントは寄付。地域社会への貢献を考えておられる市内企業・事業所様からのご寄付を授賞団体への賞金とし、市民活動への理解を深めていただき、“みんなでつくるまち草津、協働のまちづくり”の実現を目指します。

あなたがキラリと輝けば まちが輝きはじめる！

事業団では、市民の発意と行動こそ、まちの活力の源泉として捉えています。つまり、「市民一人ひとりが自分らしく輝いてこそ、まちがキラリと輝きだす」と考え、その思いをこの「ひとまちキラリ」の冠名に込めています。

平成13年より、このフレーズを冠し、自主的自発的な市民活動を応援する「ひとまちキラリまちづくり活動助成」を行ってきました。平成29年より、このイキイキ活動賞が「ひとまちキラリ」の仲間として加わりました。

ひとまちキラリ

<https://www.kusatsu-spp.net/jyoseikin/>



2つの賞

イキイキ活動賞には2つの部門があります。

いいね！

地元の力 部門

草津市内の一定の地域(概ね町内から小学校区内の範囲)において、地元住民が主体となって取り組んできた、その地域における課題解決または魅力創出のための活動で、長年にわたる地道な努力の積み重ねにより続けられてきた活動

なるほど！

市民活動 部門

草津をフィールドとする市民公益活動団体やボランティアグループが主体となって取り組んできた課題解決または魅力創出のための活動で、NPOらしい創意工夫がみられる活動

審査会

次の審査員において審査・選考を行い、事業団理事長名にて授賞します。

●審査員 *敬称略・順不同

深川光耀	花園大学 社会福祉学部 専任講師
遠藤恵子	認定NPO法人しがNPOセンター 理事
山本英嗣	NPO法人アイ・コラボレーション 理事長
中嶋裕恵	フリーアナウンサー・ディレクター(えふえむ草津パーソナリティ・ディレクター)
角 一朗	草津市まちづくり協働部 副部長

公表 授賞式

賞状と副賞をお渡しする授賞式を行います(毎年3月上旬に開催)。その際、授賞団体の活動をご紹介します。

授賞式ではご寄付いただいた企業・事業所様にもご参加いただき、会場で紹介させていただきます。コロナ禍前には、授賞式終了後、寄付者・受賞団体・審査員等による交流の機会を設けていました。

直近3年間の授賞団体

◆令和2年度

- ▶ **みどり会** 幹線道路の計画に対して地域住民の声を届け、完成後は道路愛護活動を行い行政との協働関係を築く
- ▶ **サプライズ クックス** 「男の料理教室」を16年間にわたり継続し、食を通じて人と人をつないできた活動
- ▶ **ホッとサロン ひだまり** 高齢者サロンとして、スタッフ自身の居場所や住民同士のつながりづくりとして活動

◆令和元年度

- ▶ **駒っ子の会** 子どもの見守り活動や野菜市など、エリアや世代を超えた住民のコミュニケーションを図る活動を実施
- ▶ **ボランティアグループ「泉」** 独り暮らしや日中独居の高齢者に、食事会やバスツアーを30年以上実施
- ▶ **環境ボランティア 草津湖岸コハクチョウを愛する会**
冬、厳しい寒さの琵琶湖岸で約20年もの長きにわたり水鳥の観察を実施

◆平成30年度

- ▶ **読書グループ松葉会** 常盤の子どもたちへ本の読み聞かせや地元の民話を語り継ぐ活動を約70年間実施
- ▶ **あゆみの会（出屋敷団地）**
不法投棄が絶えなかった場所を、地域住民自らの手で憩いと出会いの緑の空間へと生まれ変わらせる活動
- ▶ **草津市環境・福祉推進グループ 草津ほほえみの会**
環境から福祉まで多岐にわたるボランティア活動を27年にわたり地道に継続

ひとまちキラリ イキイキ活動賞では、貴社のご寄付をお待ちしています。

いただきました善意のご寄付は、市民が市民を支えるためのしくみとして草津市コミュニティ事業団が創設しています「市民公益寄付金制度」を通じて処理し、「ひとまちキラリイキイキ活動賞」授賞団体への副賞として大切に活用させていただきます。

●企業・事業所 10,000円／1口（何口でも結構です）



「寄付申込書」（裏面）に記入いただき、**7/15（木）まで**にご連絡いただきますようお願いいたします。

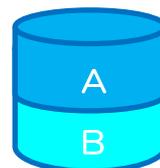
尚、ご寄付をいただいた際は、同活動賞応募要項パンフレットや当事業団情報誌「コミュニティくさつ」等の印刷物、HP「まちサボ」のほか、授賞式会場等でご芳名を披露いたします。

税制優遇

公益法人への寄付には税制優遇があります！

草津市コミュニティ事業団は公益財団法人として「特別損金算入限度額」適用団体になっています。

法人が当事業団にご寄付いただいた場合、特定公益増進法人に対する寄付金として、一定の限度額まで損金に算入できるなどの税制優遇を受けることができます。



公益法人への寄付金の特別損金算入限度額

一般寄付金の損金算入限度額

法人が支出する寄付金は、その法人の資本金等の額、所得金額に応じた一定の限度額（B）までが損金に算入されます。このとき、公益法人に対する寄付については、一定寄付金の損金算入限度額とは別に、別枠の損金算入限度額（A）が設けられています。

（「公益法人 information」HPより）

草津市 コミュニティ事業団

ご存知の方は少ないかもしれませんが、でもこの機会に知っていただけたらと思います、公益財団法人草津市コミュニティ事業団の自己紹介をいたします。

当事業団は「コミュニティの健全な発展と協働のまちづくりに関する各種事業を展開することにより、豊かで希望に満ちた市民社会の創造に寄与する」ことを目的に1984年5月に市100%出資により設立されました。

市民の皆さんの自発的で主体的なまちづくりの推進と、市内における「協働のまちづくり」を進めるため、市内の市民活動団体や地域まちづくり協議会が行うまちづくり活動を支援する中間支援組織です。「草津市協働のまちづくり条例」において市社会福祉協議会とともに「協働のまちづくり」を進めるための中間支援組織に指定されています。

また、当事業団ではロクハ荘、ロクハ公園、アミカホール、クリアホールなどの市内公共施設の運営管理も行っており、様々な角度から市民の皆さんのまちづくり活動を応援しています。

令和3年5月から草津商工会議所様と同じ市民総合交流センター（キラリエ草津）にて業務をおこなっています。これを機に、今後とも貴会議所との連携を図りながら、草津のまちづくりを盛り上げていきたく考えています。

----- キ リ ト リ -----

寄付申込書

年 月 日

公益財団法人 草津市コミュニティ事業団
理事長 様

〒

住所／所在地 _____

ふりがな
氏名／名称

(企業・団体の場合は、代表者名も記入願います)

電話 _____

市民公益寄付金制度要綱に基づき、市民公益活動賞に下記のとおり寄付を申し込みます。

記

1 寄付金額 _____ 円

2 寄付方法 (□のいずれかにチェックしてください。)

現金 口座振込 現金書留

3 公表の取扱い (公表の可否について○をしてください。)

公表可 氏名／名称 (_____) ・ 公表不可